

# 対策導入に伴い作成する資料等の作成例

ここに例示する様式等は、栃木県における統一的な参考様式で、これに沿って作成することが望ましいと考えていますが、必要な項目を含んでいれば、「市町毎に統一様式を定める」、あるいは「組織独自で様式を定める」などの対応は可能です。

また、平成19年度に示された様式等で代用することも可能です。

平成20年3月

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会

国の実施要綱等の改正に伴い一部修正される可能性がありますので取扱に注意願います。

## 目 次

1	申請関係資料	
	活動組織規約（参考様式第5号）	P 1
	構成員一覧表（添付様式5）	P 2
	活動計画（添付様式9）	P 3
	・地域のめざす姿、活動概要、役割分担（参考資料）	P 5
	・別添1 活動指針チェック表	P 6
	・別添2 位置図	P 10
	・別添3 特認要件整理票	P 11
	協定書（参考様式第9号）	P 12
	採択申請書（参考様式第13号）	P 13
	交付申請書（協議会様式）	P 14
	採択変更承認申請書（参考様式第15号）	P 15
	・協定書変更新旧対照表（添付様式15）	P 16
2	活動記録関係資料	
	活動記録	P 17
	金銭出納簿	P 20
	領収書整理帳	P 22
	財産管理台帳	P 27
	写真整理帳	P 28
3	報告関係資料	
	実施状況報告書（参考様式第18号）	P 36
	・基礎支援対象活動実施状況報告書（添付様式18-1）	P 37
	・作業写真整理帳（添付様式18-2）	P 41
	実施状況調書（参考様式第22号）	P 42
	・共同活動参加人数等報告、遊休農地の面積（参考資料）	P 43

(参考様式第5号)

## 埴田環境保全倶楽部 規約

(農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織規約)

組織設立(総会  
など)の年月日

平成20年3月10日制定

(名称)

第1条 この活動組織は、埴田環境保全倶楽部(以下「保全倶楽部」という。)と称する。

(目的)

第2条 保全倶楽部は、第3条の構成員による共同活動を通じ、中埴田地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的とする。

(構成員)

第3条 保全会の構成員は別紙のとおりとする。

(代表等)

第4条 この保全会に、代表1名、副代表1名、書記1名、会計2名、監査2名を置くこととする。代表等役員は別紙のとおりとする。

2 代表、副代表及び監査役は構成員の互選により選任するものとし、書記及び会計は、代表が指名するものとする。

3 代表は、この保全倶楽部を代表し、倶楽部の業務を統括する。

4 副代表は、代表を補佐し、代表が欠けたときは、代表を代行する。

5 書記は、保全倶楽部の業務の事務等を行う。

6 会計は、責任者として事業の会計を行う。

7 監査役は、責任者として事業会計の監査を行う。

会議の成立や議決の妥当性(過半)を確保する

(会議)

第5条 保全倶楽部の会議は、必要に応じて代表が招集する。

2 保全倶楽部の会議は、構成員の過半数以上の出席によって成立する。ただし、出席は、委任状をもって代えることができる。

3 会議の議長は代表があたり、議案は出席した構成員の過半数により決定することとし、可否同数の場合は、議長が決するところによる。

4 会議により決定した事項については、決定事項を記載した書面を作成するとともに、その写しを構成員全員に配布して確認するものとする。

(付議)

第6条 保全倶楽部の目的を達成するため、会議には次の事項を付議するものとする。

一 保全倶楽部の組織運営に関すること

二 保全倶楽部が実施する活動についての計画に関すること

三 保全倶楽部の出納の監査に関すること

四 保全倶楽部の活動を通じた地域の活性化に関すること

五 その他保全倶楽部の目的を達成するために必要な事項

(雑則)

第7条 この規約で定めるもののほか、必要な事項については、その都度協議するものとする。

本紙は記載例ですので、必要事項は加除する

【別紙】  
 (添付様式5)

## 構成員一覧表

埴田環境保倶楽部 の構成員及び役員は以下のとおり。

事務所の所在地、事務所が無い場合は代表者の住所を記入

### 1 代表者

役職名	氏名	住所	備考
代表	渡辺 二秋	埴田市中埴田100番地	埴田自治会 会長

他の役職を兼ねている場合は、記入する

### 2 農業者

役職名	氏名	備考
	埴田集落営農組合	
	埴田第2営農集団	
副代表	高橋 知紀	
	豊田 啓一	
	熊田 好樹	
	南木 欽丈	
	山田 浩志	
	西村 健悦	
	青木 和美	
	斉藤 岳央	

役職名	氏名	備考
会計	荒川 紀夫	
監査	綱川 和之	
	秋山 彩子	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	

個人の場合は氏名、団体の場合は団体名を記入

組織における役職名記入

### 3 農業者以外

役職名	氏名	備考
代表	埴田自治会	会長 渡辺二秋
会計	水土里ネット埴田	事務局長 菱沼明美
	J A 埴田営経センター	
	埴田小学校PTA	
	埴田幼稚園PTA	
書記	埴田育成会	会長 渡辺秀夫
	埴田老人会	
	NPO法人 埴田	
監査	荒井 康則	
	増田 真一	

役職名	氏名	備考
	大塚 真吉	
	藤倉 武徳	
	市川 寛子	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	
	.....	

団体に所属している人が役員となる場合は、備考欄に団体での役職名・氏名を記入する

(注)「農業者」とは、協定に位置付けられている農用地において耕作又は養畜の業務を営む農業者又は団体。

(添付様式9)

## 農地・水・環境保全向上対策に係る活動計画

組織設立総会等の年月  
日を記入する

平成20年3月10日策定

埴田環境保全倶楽部

# 農地・水・環境保全向上対策に係る活動計画

対象農用地は交付金算定対象面積、協定農用地は組織が活動を実施する農用地面積を記入する

## 第1 協定の対象となる資源

### (1) 協定の対象となる資源

位置	栃木県埴田市中埴田集落				「位置図」のとおり	
農用地	地目	田	畑	草地	計	「位置図」に示す範囲 「a」単位
	対象農用地	4,532 a	868 a	a	5,400 a	
	協定農用地	4,600 a	900 a	a	5,500 a	
	うち農振農用地	4,532 a	868 a	a	5,400 a	
農業用施設	開水路	パイプライン	ため池	農道		
	15.5 km	0.0 km	1.0 箇所	8.5 km		

共同活動を実施する施設の延長（概数）・箇所数等を記入する

### (参考) 共同活動支援交付金の支出計画

項目		金額
基礎部分の活動に要する経費		120 万円
誘導部分	農地・水向上活動に要する経費	430 万円
	農村環境向上活動に要する経費	295 万円
活動組織の管理運営に要する経費		50 万円
合計		895 万円

協定締結年度から平成23年度までの交付金について、概ね10万円単位の支出計画を記入する（採択申請書のを四捨五入した数字に合わせる）

注) 平成23年度までの支出計画の合計を記入します。

## 第2 実施計画

「地域活動指針チェック表」のとおり。

## 第3 添付書面

1. 地域活動指針チェック表
2. 位置図
3. 促進費対象活動等実施計画 該当地区のみ
4. 特認要件を適用した場合の整理表

# 【 参 考 資 料 】

地域農業や農村環境の在り方について、話し合った結果等をまとめて記入する

## 1 地域の目指すべき方向

昭和50年代のほ場整備事業で整備した生産資源施設について、一部に老朽化や破損が生じている。こうした中、事業を契機に設立された生産組織が集落営農組合に発展し、効率的な農業を展開する一方、農業後継者の確保やさらなる組織運営基盤の強化が必要となっている。また、地区内の湧水により、一部水路では冬水が確保でき、豊富な生きものが確認できる。本対策を活用し、今後とも地域農業の持続的な発展と豊かな農村環境を保全・創出していくため、農業者・地域住民はもとより、広く近隣住民や都市住民の参画を促進しながら、生産資源の長寿命化、環境に対する意識醸成と増進に向けた活動に積極的に取り組むとともに、農業振興に資する取組の充実強化や従来から取り組んできた様々な取組との連携を図り、地域活性化に繋げていく。

## 2 活動の概要

活動で話し合った重点的に取り組む内容等を記入する

活動の区分		活動の概要	活動の項目
基礎部分		農地や農業用水等の生産資源を保全する活動として、遊休農地の発生防止及び復旧、共同作業計画等に基づく施設の点検・補修、水路・農道等の草刈り、補修などに取り組む。	地域活動指針チェック表（基礎部分）のとおり
誘導部分	農地・水向上活動	ほ場整備後、30年余が経過し、水路等の漏水や破損が生じつつあることから、毎年、施設の機能診断を行い、共同計画に基づき長寿命化に資する活動に取り組むとともに、技術力向上対策を行う。主な実施活動項目：水路のコーティング・目地補修、ゲート類の保守管理 など	地域活動指針チェック表（農地・水向上活動）のとおり
	農村環境向上活動	地域の景観向上を図るための植栽に取り組むとともに、生態系保全をテーマとする計画を策定し、構成員以外の積極的な参画や埴田小学校との連携を図りながら、生きもの調査や保全に向けた活動を実施する。また活動区域内にある湧水箇所の保全を図りながら、生態系や防火などの地域用水機能の増進を図る。	地域活動指針チェック表（農村環境向上活動）のとおり
促進費対象活動等			

## 3 構成員の役割分担

地域で話し合った各構成員の役割分担を記入する

構 成 員	主 な 役 割
農業者	基礎部分、農地・水向上活動については中心的な役割を担いながら、農村環境向上活動も含め、他の構成員と連携しながら活動に取り組む。なお、従来から個々の農業者が取り組んできた畦畔及び所有農地の地先管理については、倶楽部で定めた実施期間内に各自取り組むこととする。
埴田集落営農組合	地域農業の将来像や在り方等についての意見交換を促進しながら、地域の意識醸成を促進するとともに、集落営農組合経営の安定に資するため、共同の活動を通じて後継者育成等を促進する。
埴田自治会	基礎部分のうち、水路や農道の草刈りなど、公共的な区域での活動に参画するとともに、農村環境向上活動について他の構成員と連携しながら取り組む。
水土里ネット埴田	対象施設の保安全管理について、倶楽部との連携を図りながら、基礎部分、農地・水向上活動、農村環境向上活動に他の構成員と連携して取り組む。また、倶楽部の事務に係る作業を担う。
埴田老人会	農村環境向上活動のうち、生態系保全、景観形成に係る活動について他の構成員と連携して取り組む。
埴田小学校PTA	農村環境向上活動のうち、生態系保全、景観形成に係る活動について他の構成員と連携して取り組む。また、地域の環境に関する啓発・交流活動について主体的に取り組む。
農業者以外	農村環境向上活動のうち、生態系保全、景観形成に係る活動を中心に、水路・農道等の公共的な区域における草刈り等の保安全管理作業に積極的に参画する。

(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

基礎部分【田】

活動組織名： 埴田環境保全倶楽部

区分	施設	施設の 有無	活動項目	対象とな る活動	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認		
基礎部分	点検活動	農用地	遊休農地等の発生状況の把握						実践しようとする活動項目に を付ける			
		開水路	施設の点検									
		パイプライン										
		ため池	施設の点検									
	計画策定	農道	施設の点検									
		全施設	共同作業計画の策定									
	実践活動	農用地		畦畔・農用地法面等の草刈り								
				遊休農地等の発生増資のための保全管理								
		開水路		配水操作								
				水路の草刈り								
				水路の泥上げ								
		パイプライン		配水操作								
				ポンプ場、FP調整施設等の草刈り								
				ポンプ吸水槽等の泥上げ								
		ため池		かんがい期前の注油								
				定期的な見回り								
				配水操作								
				ため池の草刈り								
	農道		ため池の泥上げ									
			かんがい期前の施設の清掃・除塵									
		管理道路の管理										
	砂利の補充											
	路肩・法面の草刈り											
	側溝の泥上げ											

現在までに毎年実施してきた活動に を付ける

農道に側溝が無い場合は、対象活動としない(できない)

点検活動(項目)	4		4
計画策定(項目)	1		1
実践活動(項目)	13	6	13
合計(項目)	18	6	18

活動区域内にある施設に を付ける

実践活動で の付いている活動項目は、点検結果に基づき実施の必要性を判断する

基礎部分  
活動区域内にある施設に係る全ての活動項目を実践する

注) 印のついた太字の実践活動は点検結果に基づいて実施の必要性を判断し、必要に応じて実施する活動

(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

誘導部分 - 農地・水向上活動

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

区分	施設	施設の 有無	活動項目	対象となる活動	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認					
農地・水向上活動	機能診断	農用地	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		開水路	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		パイプライン	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		ため池	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		農道	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
	計画策定	全施設	年度活動計画の策定												
	実践活動	農用地		畦畔の再築立 農用地法面の初期補修 鳥獣害防護柵の適正管理 防風ネットの適正管理掃 暗きょ施設の清掃 農用地の除れき 洪水後異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修											
			開水路		水路側壁のはらみ修正 目地詰め 表面劣化に対するコーティング等 不同沈下に対する早期対応 側壁の裏込め材の充填・水路耕畔の補強 水路に付着した藻等の除去 遮光施設の適正管理 水路法面の初期補修 破損施設の改修 通水試験の実施 ゲート類等の保守管理の徹底 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修										
				パイプライン		給水栓ボックス活動基礎部の補強 破損施設の改修 遮光施設の適正管理 通水試験の実施 パイプ内の清掃 給水栓に対する凍結防止対策 空気弁等への腐食防止剤の塗布等 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修									
					ため池		遮水シートの補修 コンクリート構造物の目地詰め コンクリート構造物の表面劣化 に対する対応 堤体侵食の早期補修 遮光施設の適正管理 破損施設の改修 ゲート類等の保守管理の徹底 水抜きによる点検・補修 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修								
						農道		側溝の目地詰め 側溝の不同沈下に対する早期対応 側溝の裏込め材の充填 路肩・法面の初期補修 破損施設の改修 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修							

**農地・水・向上活動**  
区域内にある施設について機能診断、計画策定を行う。  
実践活動は、今まで行っていなかった新たな活動を含め、全体で対象となる活動の5割以上を実践する。

機能診断(項目)	8		8
計画策定(項目)	1		1
実践活動(項目)	37	7	36
割合		18%	97%
合計(項目)	46	7	45
新たな実践活動(項目)			
農地・水向上活動における地域活動要件		50	%以上

出来るだけ多くの活動実践に努める

注) 印のついた太字の実践活動は機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断し、必要に応じて実施する活動

(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

誘導部分 - 農村環境向上活動

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

テーマ:生態系保全

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	生態系保全	計画策定	生態系保全計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	生物の生息状況の把握							
			生態系保全に配慮した施設の適正管理							
			水田を活用した生息環境の提供							
			生物の生活史を考慮した適正管理							
			放流・植栽を通じた在来生物の育成							
			外来種の駆除							
			希少種の監視							
計画策定(項目)					1					
啓発・普及(項目)					5					
実践活動(項目)					4					
合計(項目)					10					
新たな実践活動(項目)										

テーマ:水質保全

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	水質保全	計画策定	水質保全計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	水質保全を考慮した施設の適正管理							
			水田からの排水(濁水)管理							
			循環かんがいの実施							
			非かんがい期における通水							
			水質モニタリングの実施・記録管理							
計画策定(項目)										
啓発・普及(項目)										
実践活動(項目)					1					
合計(項目)					1					
新たな実践活動(項目)										

テーマ:景観形成・生活環境保全

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	景観形成 ・生活環境保全	計画策定	景観形成・生活環境保全計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	農業用水の地域用水としての利用・管理							
			景観形成のための施設への植栽等							
			農用地を活用した景観に配慮した作付け							
			施設等の定期的な巡回点検・清掃							
			伝統的施設や農法の保全・実施							
			農用地等を活用した景観形成活動							
計画策定(項目)										
啓発・普及(項目)					2					
実践活動(項目)				1	1					
合計(項目)				1	3					
新たな実践活動(項目)										

(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

誘導部分 - 農村環境向上活動

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

テーマ: 水田貯留機能増進・地下水かん養

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	水田貯留機能増進・地下水かん養	計画策定	水田貯留機能増進・地下水かん養に係る地域計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	水田の貯留機能向上活動							
			地域排水機能向上のための施設操作							
			水田の地下水かん養機能向上活動							
					水源かん養林等の保全					
					計画策定(項目)					
					啓発・普及(項目)					
					実践活動(項目)					
					合計(項目)					
			新たな実践活動(項目)							

テーマ: 資源循環

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	資源循環	計画策定	資源循環に係る地域計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	有機性資源の堆肥化							
			間伐材等を利用した防護柵等の適正管理							
			農業用水の反復利用							
					小水力発電施設の適正管理					
					計画策定(項目)					
					啓発・普及(項目)					
					実践活動(項目)					
					合計(項目)					
			新たな実践活動(項目)							

テーマ:

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動		計画策定								
		啓発・普及								
		実践活動								
					計画策定(項目)					
					啓発・普及(項目)					
					実践活動(項目)					
					合計(項目)					
					新たな実践活動(項目)					

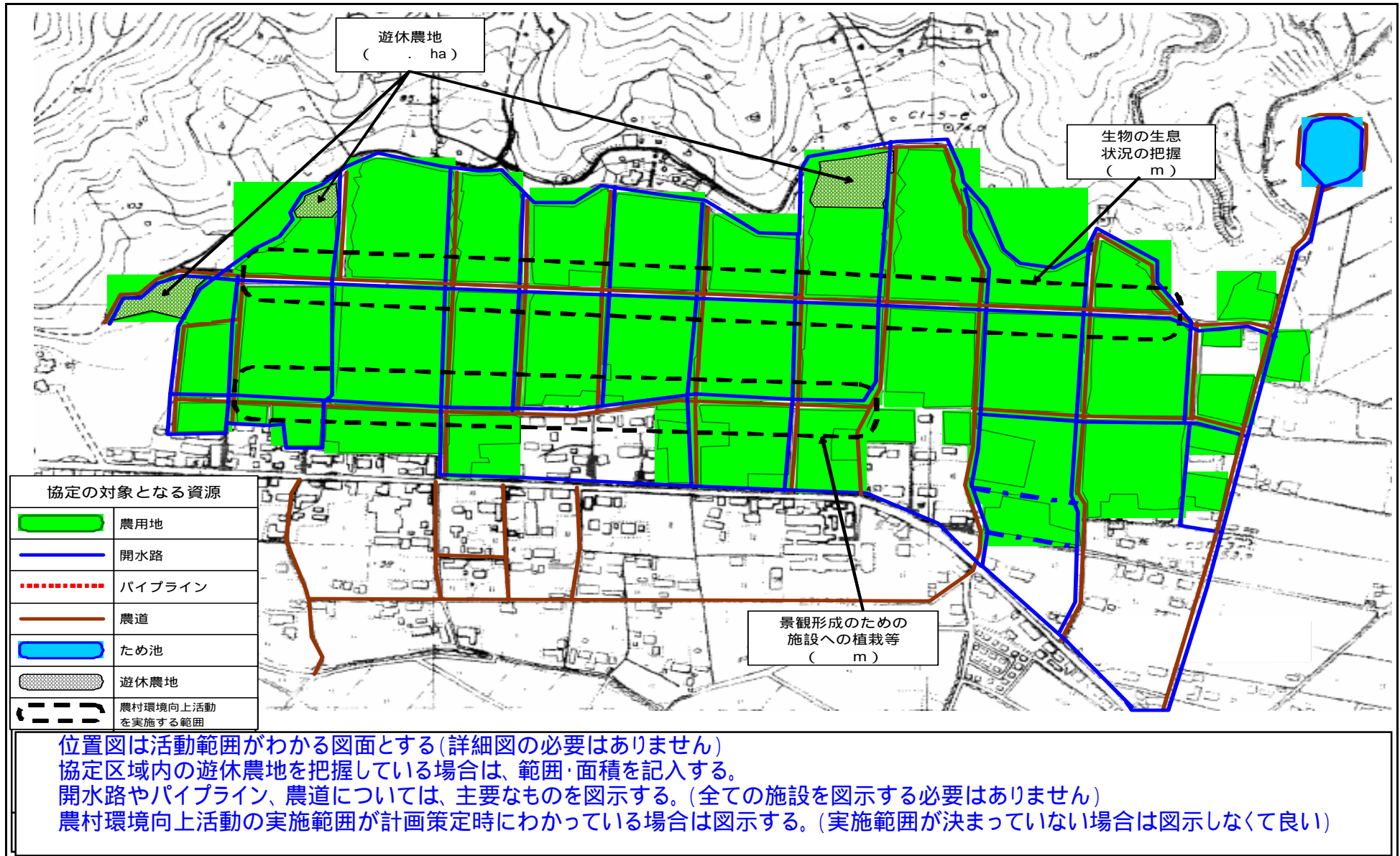
**農村環境向上活動**  
 テーマを1以上選び、計画策定、啓発・普及、実践活動を1項目以上実施する。  
 上記に加え実践活動を1以上行い、全体で4項目以上実践する。  
 実践活動にあたっては、「生物の生息状況把握」を必ず実践する。  
 実践活動にあたっては、今まで実践していなかった新たな活動項目を必ず実践する。

全テーマの集計

	計画	実施	市町村 実施確認
「計画策定」、「啓発・普及」、「実践活動」のそれぞれの活動項目をセットで実施するテーマ	生態系保全		
	水質保全		
	景観形成・生活環境保全		
	水田貯留機能増進・地下水かん養		
	資源循環		
全テーマのチェック数	計画策定(項目)	1	
	啓発・普及(項目)	7	
	実践活動(項目)	6	
	合計(項目)	14	
	新たな実践活動(項目)		
農村環境向上活動における地域活動要件	4 項目以上		

(添付様式9 別添2)  
位置図

活動組織名： 埴田環境保全倶楽部



(添付様式9 別添3)

特認要件を適用した場合の整理表

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

(1) 拡大面積の割合

区分	田	畑	草地	計
協定農用地のうち農振農用地	a	a	a	a
対象農用地	a	a	a	a
対象農用地から拡大した農用地	a	a	a	a
拡大割合 /				

(2) 特認要件の適用水準に応じた拡大面積のマトリクス表

		農地・水向上活動(実践活動)の実施割合の減少度合い(x)			
農村環境向上活動の 活動項目数の 削減の					

(3) 地域活動指針に基づき定める要件・特認要件

	地域活動指針に基づき定める要件	特認要件
農地・水向上活動 (実践活動)		
農村環境向上活動	実践活動については、「生物の生息状況把握」を実施した上で全体で4項目以上実施	

栃木県における要件なので、このまま記入する

(参考様式第9号)

## 農地・水・環境保全向上対策に係る協定書

農地・水・環境保全向上対策実施要綱に基づき、埴田環境保全倶楽部（以下「保全倶楽部」という。）と埴田市（以下「市」という。）は、次のとおり協定を締結する。

(目的)

第1条 この協定は、保全倶楽部に存する農地・農業用水等の生産資源や環境の保全と質的向上を図る活動が円滑に実施できるよう、その内容等について定めることを目的とする。

(協定期間)

第2条 協定期間は、協定締結の日から平成25年3月31日までとする。

対策実施期限

(協定の対象となる資源)

第3条 協定の対象となる資源は「活動計画」の第1に定めるとおりとする。

(実施計画)

第4条 保全倶楽部が実施する活動は、「活動計画」の第2に定めるとおりとする。

(市の役割)

第5条 市は、協定の対象区域において、保全倶楽部が第4条に定める実施計画とは別に、次の事項を行う。

(1) 保全倶楽部が行う活動に対する指導・助言 必要に応じて追記

(その他)

第6条 この協定に定めのない事項、又は疑義が生じた場合は、保全倶楽部と市が別に協議して定めるものとする。

以上を証するため、本協定書2通を作成し、保全倶楽部及び市は、それぞれ記名押印の上、各一通を保有する。

協定締結日

平成20年3月20日

埴田市中埴田100番地  
埴田環境保全倶楽部  
代表 渡辺二秋

印

市 町 番地  
市長

印

別添資料 農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織規約

(参考様式第13号)

申請は4月1日以前でも可能

埴環倶楽部第 号  
平成20年3月30日

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会長  
大久保 寿 夫 殿

埴田環境保全倶楽部代表  
渡 辺 二 秋



### 農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援交付金) に係る採択申請書

農地・水・環境保全向上対策実施要領(平成19年3月30日付け18農振第1778号生産局長、農村振興局長通知)の第4の8の(1)に基づき、下記のとおり共同活動支援交付金の採択を申請する。

#### 記

1. 活動組織名 埴田環境保全倶楽部

2. 協定の対象となる位置 栃木県埴田市中埴田集落一円の地域

3. 協定期間

協定締結年度	協定終了年度	共同活動支援交付金 交付年数
平成20年度	平成24年度	4 年

対策の終了年度

着手(協定締結)年度から平成23年度までの年数

4. 共同活動支援交付金総額

	対象農用地 面積	年度当たり 交付金額	共同活動支援交付金 交付年数における 交付金総額 = ×
基礎 支援	田	4,532 a	1,994,080 円
	畑	868 a	243,040 円
	草地	a	円
	計	5,400 a	2,237,120 円
促進 費	高度な農地・水 向上活動等の実施		円
	自立的活動実施		円
	計		円
総 額		2,237,120 円	8,948,480 円

添付資料 1. 農地・水・環境保全向上対策に係る活動組織規程  
2. 農地・水・環境保全向上対策に係る協定書

対象農地面積に10aあたり、水田4,400円、畑2,800円、草地400円を乗じた額

(参考様式第1号)

H20 着手地区は採択  
日以降の年月日となる

埴田環境保全倶楽部第 号  
平成 20 年 4 月 10 日

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会  
会 長 大 久 保 寿 夫 様

埴田環境保全倶楽部代表  
渡 辺 二 秋 印

## 平成20年度共同活動支援交付金に係る 交付申請について(第1回)

共同活動支援交付金の業務方法書第6条に基づき、下記のとおり共同活動支援交付金の交付を申請する。

### 記

1. 交付申請額 ( + ) 2, 237, 120円

2. 交付申請額内訳

(1) 基礎支援

項 目	金 額
採択決定額	2, 237, 120円
既交付額	0円
今回申請額	2, 237, 120円
採択決定額との差額 = - -	0円

(2) 促進費

項 目	金 額
採択決定額	円
既交付額	円
今回申請額	円
採択決定額との差額 = - -	円

3. 振込先

金融機 関 名 及 び 店 舗 名 : 埴田銀行 支店  
預 貯 金 別 口 座 番 号 : 番号  
口 座 名 義 人 ( フ リ ガ ナ ) : 埴田環境保全倶楽部 代表 渡辺二秋  
口 座 名 義 人 の 住 所 : 栃木県埴田市中埴田100番地

対策導入に際して新  
たに開設した口座

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会長  
大久保 寿夫 殿

埴田環境保全倶楽部代表  
渡 辺 二 秋



協議会からの  
採択通知の  
年月日、番号

農地・水・環境保全向上対策(共同活動支援交付金)  
に係る採択変更承認申請書

平成 年 月 日付け第 号で採択通知のあった共同活動支援交付金を変更したいの  
で、農地・水・環境保全向上対策実施要領(平成19年3月30日付け18農振第1778号生産局  
長、農村振興局長通知)の第4の8の(3)のアに基づき、下記により採択の変更承認を申請  
する。

記

- 1. 活動組織名
- 2. 協定の対象となる位置
- 3. 協定期間

取り組んできた  
年数

平成23年度までの残り  
の年数(当該年度含む)

協定締結年度	協定終了年度	共同活動支援交付金 既交付年数	共同活動支援交付金 残り交付年数
平成20年度	平成24年度	0 年	4 年

4. 共同活動支援交付金既決定総額

		対象農用地 面積	共同活動支援交付金交付年数における 交付金総額
基礎 支援	田	4,532 a	7,976,320 円
	畑	868 a	972,160 円
	草地	a	円
	計	5,400 a	8,948,480 円
促進 費	高度な農地・水 向上活動等の実施		円
	自立的活動実施		円
	計		円
総 額			8,948,480 円

5. 共同活動支援交付金残り交付年数における交付金総額

		対象農用地 面積	共同活動支援交付金 残り交付年数における 年度当たり交付金額	共同活動支援交付金 残り交付年数における 交付金総額 = ×
基礎 支援	田	4,332 a	1,906,080 円	7,624,320 円
	畑	868 a	243,040 円	972,160 円
	草地	a	円	円
	計	5,200 a	2,149,120 円	8,596,480 円
促進 費	高度な農地・水 向上活動等の実施		円	円
	自立的活動実施		円	円
	計		円	円
総 額			2,149,120 円	8,596,480 円

添付資料 1. 農地・水・環境保全向上対策に係る協定書の変更 新旧対照表

(添付様式15)  
農地・水・環境保全向上対策に係る協定書の変更 新旧対照表

変更前					変更後				
(別紙)活動計画					(別紙)活動計画				
第1 協定の対象となる資源の範囲					第1 協定の対象となる資源の範囲				
面積が変更となった 場合の例									
位置	栃木県埴田市中埴田集落				「位置図」のとおり				
農用地	地目	田	畑	草地	計	「位置図」に示す 範囲			
	対象農用地	4,532 a	868 a	a	5,400 a				
	協定農用地	4,600 a	900 a	a	5,500 a				
	うち農振農 用地	4,532 a	868 a	a	5,400 a				
農業用施設	開水路	パイプライン		ため池	農道				
	15.5 km	0.0 km		1.0 箇所	8.5 km				
参考					参考				
県協議会からの交付金、895万円は下表のとおり支出する					県協議会からの交付金、860万円は下表のとおり支出する				
項目		金額			項目		金額		
基礎部分の活動に要する経費		120 万円			基礎部分の活動に要する経費		105 万円		
誘導 部分	農地・水向上活動に要する経費	430 万円			誘導 部分	農地・水向上活動に要する経費	410 万円		
	農村環境向上活動に要する経費	295 万円				農村環境向上活動に要する経費	295 万円		
活動組織の管理運営に要する経費		50 万円			活動組織の管理運営に要する経費		50 万円		
合計		895 万円			合計		860 万円		

別添資料

1. 農地・水・環境保全向上対策に係る協定書(変更後)

変更後の内容で再締結した協定

# 平成19年度 農地・水・環境保全向上対策 活動記録

活動組織名： 埴田環境守保全倶楽部

活動実施日時			活動参加人数				活動内容				備考	
実施月日	実施時間		総参加人数	農業者	農業者以外	非構成員	点検・計画策定を同日で実施	活動区分	施設又はテーマ	活動項目		
	時間帯	実施時間										
4月1日	9時～12時	3.0 時間	12 人	8 人	4 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地、開水路、ため池、農道	施設の点検、共同作業計画の作成	支払いを伴う場合は「支払い有り」
4月3日	9時～16時	7.0 時間	17 人	15 人	2 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地	畦畔の再築立	
4月5日	9時～11時	2.0 時間	45 人	23 人	12 人	10 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	開水路	水路の泥上(1,500m)	支払い有り
4月5日	13時～16時	3.0 時間	55 人	35 人	15 人	5 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地、ため池	畦畔・農用地法面・ため池の草刈り、きめ細やかな雑草対策	
4月30日	9時～11時	2.0 時間	35 人	17 人	13 人	5 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地、開水路、農道	機能診断・補修技術の研究	支払い有り
5月10日	8時～10時	2.0 時間	25 人	15 人	8 人	2 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地、開水路、ため池、農道	機能診断、診断結果の記録	
5月12日	18時～19時	1.0 時間	14 人	7 人	5 人	2 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農用地、開水路	年度活動計画の策定	
5月21日	8時～12時	4.0 時間	65 人	24 人	20 人	5 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	開水路、農道	水路の草刈り、路肩・法面の草刈り、きめ細やかな雑草対策、目地詰め、表面劣化に対するコーティング等	支払い有り
7月1日	18時～19時	1.0 時間	18 人	8 人	7 人	3 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	景観形成・生活環境保全	景観形成・生活環境保全計画の策定	
7月11日	9時～11時	2.0 時間	45 人	17 人	18 人	10 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	景観形成・生活環境保全	景観形成のための施設への植栽	支払い有り
8月1日	15時～17時	2.0 時間	28 人	8 人	15 人	5 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	生態系保全	生態系保全計画策定	
8月12日	7時～9時	2.0 時間	30 人	15 人	10 人	5 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	開水路、農道	水路の草刈り、路肩・法面の草刈り、きめ細やかな雑草対策	支払い有り
8月12日	9時～11時30分	2.5 時間	95 人	25 人	55 人	15 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	生態系保全	生物の生息状況の把握、外来種の駆除	支払い有り

# 平成19年度 農地・水・環境保全向上対策 活動記録

活動組織名： 埴田環境守保全倶楽部

活動実施日時			活動参加人数				活動内容				備考	
実施月日	実施時間		総参加人数	農業者	農業者以外	非構成員	点検・計画策定を同日で実施	活動区分	施設又はテーマ	活動項目		
	時間帯	実施時間										
8月31日	9時30分～12時	2.5 時間	170 人	25 人	95 人	50 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	生態系保全	地域住民等との交流活動、学校教育等との連携	支払い有り
9月15日	9時30分～12時	2.5 時間	10 人	4 人	4 人	2 人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	生態系保全	広報活動	支払い有り
10月1日	8時～10時	2.0 時間	23 人	15 人	8 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農道	機能診断、診断結果の記録、年度活動計画の策定	
10月15日	8時～12時	3.0 時間	35 人	18 人	17 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	農道	砂利の補充、破損施設の改修	支払い有り
2月1日	8時～10時	2.0 時間	23 人	15 人	8 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	開水路	機能診断、診断結果の記録、年度活動計画の策定	
2月5日	8時～10時	2.0 時間	15 人	12 人	3 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	開水路	ゲート類の保守管理の徹底	支払い有り
……	……	… 時間	… 人	… 人	… 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	……	……	……
……	……	… 時間	… 人	… 人	… 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	……	……	……
……	……	… 時間	… 人	… 人	… 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	……	……	……
……	……	… 時間	… 人	… 人	… 人	人	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動	点検活動 計画策定 実践活動	機能診断 啓発・普及	……	……	……
計			人	人	人	人						

「活動区分」欄のチェックは「」、「」などを付けてください。

「活動項目」欄には、活動指針に記載されている活動項目名を記入してください。

支援交付金の支払いを行った場合、備考欄に「支払い有り」と記入してください。

最下段に、「参加人数」の合計値を記入してください。

合計値を記入する

**1日に複数の作業を実施した場合**  
 時間帯を分けて実施：同日付で2行に整理する(例 4/5、8/12)  
 いくつかの作業を役割分担で並行的に実施：1行で整理しても結構です(例 5/21)



支出費目は9項目から4項目となりました。区分分けは下表を参考にしてください

平成20年度 農地・水・環境保全向上対策 金銭出納簿

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

日付	内容	収入 (円)	支出(円)				残高 (円)	領収書 番号	活動実施日	備考
			日当	購入・リース費	委託費	その他				
4月2日	共同活動支援交付金の受取	2,237,120								
4月2日	パソコンリース料(1年分)			50,000			50,000	1		
4月2日	事務用品代(北用紙・インク・ファイル)					15,000	15,000	2		
4月2日	スコップ購入費(2,000円×10本)			20,000			20,000	3	4月5日	
4月5日	飲み物代(100円×45+55人分)					10,000	10,000	4	4月5日	
4月5日	日当(2時間)(1,000円×45人)		45,000				45,000	5	4月5日	
4月30日	日当(2時間)(500円×35人)		17,500				17,500	6	4月30日	
5月19日	目地材等購入費			150,000			150,000	7	5月21日	
5月19日	コテ購入費(500円×8本)			4,000			4,000	8	5月21日	
5月19日	草刈り鎌購入費(1,000円×15本)			15,000			15,000	9	5月21日	
5月21日	草刈り機の借上費(500円×30台)			15,000			15,000	10	5月21日	
5月21日	草刈り機燃料代(500円×30台)					15,000	15,000	11	5月21日	
5月21日	飲み物代(100円×65人分)					6,500	6,500	12	5月21日	
5月21日	日当(4時間)(2,000円×65人)		130,000				130,000	13	5月21日	
7月10日	景観作物苗購入費			55,000			55,000	14	7月11日	
7月10日	肥料購入費			3,000			3,000	15	7月11日	
7月11日	飲み物代(100円×45人分)					4,500	4,500	16	7月11日	
7月11日	日当(2時間)(500円×45人)		22,500				22,500	17	7月11日	
8月9日	事務用品代(カラーコピー)					12,000	12,000	18	8月12日	
8月10日	プラスチック水槽(1,500円×10個)			15,000			15,000	19	8月12日	
8月10日	サデ網・タモ網(1,500円×10個)			15,000			15,000	20	8月12日	
8月10日	バケツ(1,000円×10個)			10,000			10,000	21	8月12日	
8月10日	記念品(500円×40個)			20,000			20,000	22	8月12日	
8月12日	飲み物代(100円×95人分)					9,500	9,500	23	8月12日	
8月12日	日当(2.5時間)(500円×45人)		22,500				22,500	24	8月12日	
8月12日	草刈り機の借上費(500円×20台)			10,000			10,000	25	8月12日	
8月12日	草刈り機燃料代(500円×20台)					10,000	10,000	26	8月12日	

支出費目は9項目から4項目となりました。区分分けは下表を参考にしてください

平成20年度 農地・水・環境保全向上対策 金銭出納簿

活動組織名： 埴田環境保全倶楽部

日付	内容	収入 (円)	支出(円)				残高 (円)	領収書 番号	活動実施日	備考	
			日当	購入・リース費	委託費	その他					計
8月12日	飲み物代(100円×30人分)					3,000	3,000	1,532,120	27	8月12日	
8月12日	日当(2時間)(1,000円×30人)		30,000				30,000	1,502,120	28	8月12日	
8月25日	事務用品代(発表会資料ｶｰﾄﾞ)					72,000	72,000	1,430,120	29	8月31日	
8月31日	飲み物代(100円×170人分)					17,000	17,000	1,413,120	30	8月31日	
8月31日	謝礼(講師:高橋啓三氏)				10,000		10,000	1,403,120	31	8月31日	
8月31日	会場使用料					25,000	25,000	1,378,120	32	8月31日	
8月31日	日当(2時間)(500円×10人)		5,000				5,000	1,373,120	33	8月31日	
9月15日	事務用品代(情報発信資料ｶｰﾄﾞ)					25,000	25,000	1,348,120	34	9月15日	
9月15日	日当(2.5時間)(500円×10人)		5,000				5,000	1,343,120	35	9月15日	
9月30日	役員報酬(代表2万円、他役員1万円×6名)					80,000	80,000	1,263,120	36	1年分	
10月15日	砂利購入費			155,000			155,000	1,108,120	37	10月15日	
10月15日	農道補修(ｱｽﾌﾙﾄﾞ乳剤系補修)				45,000		45,000	1,063,120	38	10月15日	
10月15日	2トントラック借上費(燃料費込み)			12,000			12,000	1,051,120	39	10月15日	
10月15日	日当(3時間)(1,500円×35人)		52,500				52,500	998,620	40	10月15日	
2月5日	ゲートスピンドル補修委託(2箇所)				168,000		168,000	830,620	41	2月5日	
2月5日	錆止め・塗装ﾌﾟﾗｲﾏｰ購入費(ゲート2箇所)			78,000			78,000	752,620	42	2月5日	
2月5日	日当(2時間)(1,000円×15人)		15,000				15,000	737,620	43	2月5日	
2月9日	利息	100					0	737,620			
.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	
3月31日	次年度繰越							45,250			
	合計	2,237,220	上記計額	上記計額	上記計額	上記計額	2,191,970				

- \* 「共同活動支援交付金」と「営農活動支援交付金」は、別々の金銭出納簿で管理してください。
- \* 日付は、預金通帳や領収書など、実際に支払いを行った日付を記入して下さい。
- \* 領収書には、「内訳」を記入するとともに、金銭出納簿の「領収書番号(通し番号)」を記入し、簡易な整理帳に貼り付けるなどして適正に保管してください。
- \* 領収書は、レシートでも問題ありませんが、感熱紙は時間が経過すると印字が消えてしまいますので、必ずコピー写しも保管してください。
- \* 「支出」には、下表を参考に該当する支出費目の欄に金額を記入して下さい。

支出費目	内容
日当	活動参加者に対して支払った日当
購入・リース費	資材(碎石、砂利、セメントなど)の購入費、活動に必要な機械(草刈り機など)の購入費、パソコンなどのリース費、車両・機械等の借り上げ費、花の種、苗代など
委託費等	建設業者等への外注費、事務の外注費、または技術指導等のための外部から招く専門家等への謝礼
その他	先進地視察や研修にかかる旅費、保険料、文具代及び光熱の費用、アルバイト等への賃金、草刈り機や車の燃料代、役員報酬、お茶代など

# 「領収書整理帳」の作成例

## 領収書整理帳

活動組織名：埴田環境保全倶楽部

(注) \*領収書は、金銭出納簿の領収書番号の順に、領収証に通し番号を付け整理し、保管する。

1

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥50,000-

但し、パソコンリース料(1年分)として。  
平成19年4月2日

(株)リース青丹 印

2

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥15,000-

但し、コピー用紙、インク、ファイル代として。  
平成19年4月2日

(株)ホームセンター 印

3

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥20,000-

但し、スコップ(10本)代として。  
平成19年4月2日

(株)カンセコ 印

4

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥10,000-

但し、飲み物(100本)代として。  
平成19年4月5日

イトイレブン 印

7

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥150,000-

但し、目地材費(15本)として。  
平成19年5月19日

(株)カンセコ 印

8

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥4,000-

但し、コテ(8本)代として。  
平成19年5月19日

(株)ホームセンター 印

9

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥15,000-

但し、草刈り鎌(15本)代として。  
平成19年5月19日

(有)鎌屋商店 印

11

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥500-

但し、草刈り機械燃料代として。  
平成19年5月21日

(有)桐博商店 印

14

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥55,000-

但し、花種子、苗代として。  
平成19年7月10日

埴田種苗店 印

15

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥3,000-

但し、肥料代(5袋)として。  
平成19年7月10日

一春肥やし店 印

22

領 収 証

埴田環境保全倶楽部 様

¥20,000-

但し、図書券(50枚)代として。  
平成19年8月10日

(株)埴田書店 印

日当や草刈り機械借り上げ費、燃料費等は一覧表形式の領収書でも可能です。また、団体の代表者が一括して受領した場合は、証拠書類を整備しておく必要があります(次頁参照)

# 一覧表形式の領収書作成例

整理番号を記入し金銭出納簿の領収書番号欄へ番号を転記

5

## 領 収 書 ( 共同活動参加者 )

活動組織名： 埴田環境保全倶楽部

作業日 : 平成20年4月5日  
 作業時間 : 9時～11時(2時間)

氏 名	備 考	確 認
高橋 知紀		
豊田 啓一	1,000円	豊田
熊田 好樹	1,000円	熊田
南木 欽丈		
山田 浩志	1,000円	山田
西村 健悦	1,000円	西村
青木 和美		
斉藤 岳央	1,000円	斉藤
荒川 紀夫		
綱川 和之	1,000円	綱川
秋山 彩子		
荒井 康則	1,000円	荒井
増田 真一	1,000円	増田
大塚 真吉	1,000円	大塚
藤倉 武徳		
市川 寛子	1,000円	市川
.....		
.....		
	45,000円	参加者45人

あらかじめ「氏名」欄に、構成員の名前を記入することにより、共同活動の実施日ごとに氏名を記入する手間を省くことができます。

「確認」欄には、日当を受領した確認として、参加者本人より受領印又はサインをもらいます。





# 事務日報

活動組織名：埴田環境保全倶楽部

月 日	時 間	人数	事務内容 (事務内容、参加者の概要等を具体的に記載する。)	記録者
4月 8日	13時～14時	1人	会計責任者青柳 博道による金銭出納簿、作業日報等の整理。	青柳 博道
5月 15日	17時～18時	5人	代表者渡辺二秋、会計責任者青柳博道、他役員による年度活動計画の整理と実践活動に向けた準備	青柳 博道
5月 20日	13時～14時	1人	会計責任者青柳 博道による金銭出納簿、作業日報等の整理。	青柳 博道
6月	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>事務作業の日報である、<u>事務日報の作成は省力することができます。</u>                      事務作業に伴い日当等の支払を行う場合、領収書が必要となり、事務作業を 時間行い、誰に対して支払ったかをわかるように整理して下さい。</p> </div>			青柳 博道
7月				青柳 博道
8月 8日	17時～18時	5人	代表者渡辺二秋、主として物議、他役員による調査準備	渡辺 二秋
8月 10日	13時～14時	3人	代表者渡辺二秋、会計責任者青柳博道、他役員による作業日報、参加者名簿、領収書等の整理	渡辺 二秋
10月 27日	17時～18時	5人	代表者渡辺二秋、会計責任者青柳博道、他役員による年度活動計画の整理と実践活動に向けた準備	青柳 博道
月 日	時～ 時			
月 日	時～ 時			

# 「財産管理台帳」の記載例

## 財産管理台帳

管理台帳は「単体あたり、1万円以上のもの」は必ず記入してください。（1万円以下は記入を省力出来ます）

活動組織名：埴田環境保全倶楽部

番号	名称	規格・機種	数量	単位	取得		処分		保管場所	備考
					価格	年月日	価格	年月日		
1	スコップ	ナカス AOYAGI20	5	本	2,000円/本	H19.4.2			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
2	草刈り鎌		5	本	1,000円/本	H19.4.10	1,000円/本 刃の 破損の著しい2本を 処分	H20.3.15	埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
3	デジタルカメラ	ナカス AOYAGI20	2	台	1,500円/台	H19.4.10			事務担当者自宅	管理責任者 星野義則、青柳俊明
4	サデ網		3	個	1,500円/本	H19.8.1			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
5	タモ網		3	個	1,500円/本	H19.8.1			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
6	スコップ	ナカス AOYAGI20	10	本	2,000円/本	H20.4.2			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
7	コテ	イバタ H2	8	本	500円/本	H20.5.19			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
8	草刈り鎌		10	本	1,000円/本	H20.6.10			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
9	プラスチック水槽	ナカス HOYA - C	10	個	1,500円/本	H20.8.10			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
10	サデ網		5	個	1,500円/本	H20.8.10			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
11	タモ網		5	個	1,500円/本	H20.8.10			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
12	バケツ	ミカワ アルミ製 J型	10	個	1,000円/本	H20.8.10			埴田公民館	管理責任者 荒井 康則
13	.....	....	..		...	...			.....	.....

財産を処分した場合は、  
処分数量と処分年月日を  
記入してください

前年度作成した台  
帳に追加記入して  
下さい

購入順に記入してください。  
処分した場合は、処分数量と処分年月日を記入してください。  
対策期間を通して使用することし、年度ごとに追記してください。  
様式は任意ですので、自由に変更しても結構です。

写真は、1活動で1枚以上撮るように  
努めましょう。計画策定や会議等の状  
況写真の撮影は省略出来ます。

写真番号: 1



実施年月日	平成20年4月1日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又は テーマ	農用地
活動項目	遊休農地の発生状況の把握
備考	

写真番号: 2



実施年月日	平成20年4月1日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又は テーマ	農用地、開水路、農道
活動項目	施設の点検
備考	

写真番号: 3



実施年月日	平成20年4月1日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又は テーマ	ため池
活動項目	施設の点検
備考	

写真番号: 4

不可抗力により写真を貼付出来なかった場合は理由を記入する  
 例: デジタルカメラの写真データを誤って消去したため、添付していません

実施年月日	平成20年4月3日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	農用地
活動項目	畦畔の再築立
備考	

写真番号: 5



実施年月日	平成20年4月5日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	開水路
活動項目	水路の泥上げ
備考	

写真番号: 6



実施年月日	平成20年4月5日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	ため池
活動項目	ため池の草刈り、きめ細やかな雑草対策
備考	

## 作業写真整理帳

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

写真番号: 7



実施年月日	平成20年4月30日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又はテーマ	農用地、開水路、ため池、農道
活動項目	機能診断・補修技術の研修
備考	

写真番号: 8



実施年月日	平成20年5月10日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又はテーマ	農用地、開水路、ため池、農道
活動項目	機能診断
備考	

写真番号: 9



実施年月日	平成20年5月21日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又はテーマ	開水路、農道
活動項目	水路の草刈り、路肩・法面の草刈り、きめ細やかな雑草対策
備考	

作業写真整理帳

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

写真番号: 10



実施年月日	平成20年5月21日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	開水路
活動項目	目地詰め、表面劣化に対するコーティング等
備考	

写真番号: 11



実施年月日	平成20年7月11日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	景観保全・生活環境保全
活動項目	景観形成のための施設への植栽
備考	

写真番号: 12



実施年月日	平成20年8月12日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	開水路、農道
活動項目	水路の草刈り、路肩・法面の草刈り、きめ細やかな雑草対策
備考	

## 作業写真整理帳

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

写真番号: 13



写真番号: 14



写真番号: 15



実施年月日	平成20年8月12日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	生態系保全
活動項目	生物の生息状況の把握、 外来種の駆除
備考	

実施年月日	平成20年8月12日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	生態系保全
活動項目	生物の生息状況の把握、 外来種の駆除
備考	

実施年月日	平成20年8月31日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	生態系保全
活動項目	地域住民等との交流活動、 学校教育との連携
備考	講演会、生きもの調査発表 会

## 作業写真整理帳

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

写真番号: 16



写真番号: 17



写真番号: 18



実施年月日	平成20年10月1日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又は テーマ	農道
活動項目	機能診断
備考	

実施年月日	平成20年10月15日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又は テーマ	農道
活動項目	砂利の補充
備考	

実施年月日	平成20年10月15日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又は テーマ	農道
活動項目	破損施設の改修
備考	

作業写真整理帳

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

写真番号: 19



実施年月日	平成21年2月1日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	開水路
活動項目	機能診断
備考	

写真番号: 20



実施年月日	平成21年2月5日
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 機能診断 計画策定 啓発・普及 実践活動
施設又はテーマ	開水路
活動項目	ゲート類の保守管理の徹底
備考	ゲート、堰板の補修

# 参考写真

## 看板設置



## 情報紙の作成・配布

**「親子で水生生物調査」に参加してみませんか。** 水産センターに集合  
**ふるさとの川を知ろう!!** 8月4日(土) 午前8時30分  
 子ども会育成会・女性会・老人クラブ

水生生物調査は、水質を判定することはもちろんですが、身近な川に入って調査することで、川に親しみをもち、川の環境に対する関心を深めるとともに、川を汚さない、きれいにすることを教えること、子ども会育成会の協力を得て、ドジョウ、ナマズ、メダカの住めるビオトープ水路と水田魚道を整備し、農村生態系を保全することを目的としています。

調査する場所の川にどのような水生生物がすんでいるかを調べることで、水質を「きれいな水・すこやかな水・きたない水・たいへんきたない水」の4段階に判定するものです。ヤゴやカワゲラ、オタマジャクシなどの川底にすんでいる水生生物は、水のきれい、きたないに大きく影響を受けます。したがって、こうした水質の程度をあらわす水生生物（指標生物と言います）をつかまえることで、川の水のきれい度が分かるというわけです。今年は広く一般の方々にもご参加いただけるよう、「親子で水生生物調査」を企画しました。専門の先生が指導します。



### 生態系の悪化、絶滅しつつある生き物たち

かつては、上尾川周辺には、多くの野生生物を育む場所でした。近年の湿地環境の減少に伴い、野生生物の減少が続いているのは事実です。

タマシキ、ヤリタ、ゲンジボタル、ノハナショウブ、タコノアシ、セキショウモ等が絶滅。更にかやネズミ、コシゴイ、ヒタイナ、タイナ、タゲリ、ツチガエル、シュレーアマガエル、メダカ、ミドリシ、ヘイケボタル、フジバカマ、ミズワラビ、ハンダショウ等々の動植物が急速に減少しつつあることが、各地区の調査で報告されています。いずれも水辺との結びつきの強いこれらの水生動物の減少や絶滅が相次いでいます。



このうち、かつて田んぼの多くでとらえられたヘイケボタル、メダカ、ニホアカガエル、アズマヒキガエル、オニヤンマ、ハダロトンボなどがあります。このうち、2種のトンボと2種のカエルはどこでもいた身近な生き物が消滅しつつあることが懸念されています。

第2号「農地・水・環境保全向上対策事業」 平成19年7月1日発行  
**曼珠沙華の里通信**  
 上尾生地環境資源保全

### ◆農地・水・環境保全向上対策事業◆

NHK趣味の園芸講師 日白大学准教授 大出英子先生講演会

## 大出英子先生の講演会を開催

「曼珠沙華の里づくりと春に華やく宿根草」

6月14日(木)、上尾生コミュニティセンターにおいて「曼珠沙華の里づくりと春に華やく宿根草」と題した大出先生の講演会が開催されました。会場には、上尾生の皆さんに加え、農地・水・環境保全向上対策事業を実施している他の大字の方も詰めかけ、約50人が熱心に耳を傾けていました。



▲大出先生の話しに熱心に聞き入る皆さん

講演では、「今うちこちで花の里づくりが行われています。毎年決まったところにきれいな花が咲けば、距離が短くても観光客は必ず来ます。この地区でも曼珠沙華の里づくりに取り組むとのこと、宿根草の黄色と曼珠沙華の赤はとってもきれいな田舎の原風景となります。若い頃から植物好きの家庭に育った子どもは、大人になっても脳裏にそれが残っていて、花好きとなり、植樹教育には欠かせないものだと感じています。

曼珠沙華は、比較的日の当たる水はけのよいところを好みます。夏の草刈り時には花芽がならないため、管理の邪魔にならないほか、朝から分送される物質は、キタ科などの雑草の生育を抑える反面、イネの生育には無害だそうです。」と曼珠沙華や宿根草の育て方、管理の仕方を変え先生は熱く語りかけられました。

また、先生のお父様が経営する群馬町大池地区内の「花とロマンのトレッキング」・布袋公園・大島原芸術本植物園・大池花山」は、30,000坪(約10ヘクタール)の山の斜面に四季折々の草花が咲き乱れ、花嫁が着るようなフラワーパーク計画により現在造成中だそうです。里山を利用した園内に、ツツジやサクラ・アヤメ等、四季折々の草花や花木が植栽され、園内には散策できるトレッキングコースもあるそうです。時間があがる方は、是非訪れてみてはいかがでしょうか。

▲他の大字の人も詰めかけて園内を講演

大出英子 曼花カタクリ・水仙・疾・キスグ・彼岸花・山桜・サツキ・紫陽花・松林・つじ・椿・ヤマボウシ・ヘメロカリス等 多種

(参考様式第18号)

埴環倶楽部第 号  
平成21年3月31日

埴田市長 殿

埴田環境保全倶楽部代表  
渡 辺 二 秋



## 平成20年度 農地・水・環境保全向上対策 (共同活動支援交付金)に係る実施状況報告書

平成20年度の実施状況について、農地・水・環境保全向上対策実施要領(平成19年3月30日付け18農振第1778号生産局長、農村振興局長通知)の第4の9の(1)に基づき、下記関係書類を添えて報告する。

### 記

1. 基礎支援対象活動実施状況報告書
2. 作業写真整理帳
3. 促進費対象活動等実施状況報告書  
(点数チェック表)
4. 促進費対象活動等実施状況報告書  
(高度な農地・水向上活動又は質の高い農村環境向上活動)
5. 促進費対象活動等実施状況報告書  
(対象活動組織の特定非営利活動法人化)

(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

基礎部分

活動組織名： 埴田環境保全倶楽部

区分	施設	施設の 有無	活動項目	対象とな る活動	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認		
基礎 部分	点検活動	農用地	遊休農地等の発生状況の把握									
		開水路	施設の点検									
		パイプライン										
		ため池	施設の点検									
	計画策定	農道	施設の点検									
		全施設	共同作業計画の策定									
	実践活動	農用地		畦畔・農用地法面等の草刈り								
				遊休農地等の発生増資のための保全管理								
		開水路		配水操作								
				水路の草刈り								
				水路の泥上げ								
		パイプライン		配水操作								
				ポンプ場、FP調整施設等の草刈り								
				ポンプ吸水槽等の泥上げ								
		ため池		かんがい期前の注油								
				定期的な見回り								
				配水操作								
			ため池の草刈り									
	農道		ため池の泥上げ									
		かんがい期前の施設の清掃・除塵										
		管理道路の管理										
	砂利の補充											
	路肩・法面の草刈り											
	側溝の泥上げ											
				点検活動(項目)	4		4	4				
				計画策定(項目)	1		1	1				
				実践活動(項目)	13	6	13	13				
				合計(項目)	18	6	18	18				

注) 印のついた太字の実践活動は点検結果に基づいて実施の必要性を判断し、必要に応じて実施する活動

区分	施設	施設の 有無	活動項目	対象となる活動	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認					
農地・ 水向上活動	機能診断	農用地	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		開水路	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		パイプライン	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		ため池	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
		農道	施設の機能診断 診断結果の記録管理												
	計画策定	全施設	年度活動計画の策定												
	実践活動	農用地		畦畔の再築立 農用地法面の初期補修 鳥獣害防護柵の適正管理 防風ネットの適正管理掃 暗きょ施設の清掃 農用地の除れき 洪水後異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修						機能診断の結果、必要の 無かった活動(実施済とし て扱う)					
			開水路		水路側壁のはらみ修正 目地詰め 表面劣化に対するコーティング等 不同沈下に対する早期対応 側壁の裏込め材の充填・水路耕畔の補強 水路に付着した藻等の除去 遮光施設の適正管理 水路法面の初期補修 破損施設の改修 通水試験の実施 ゲート類等の保守管理の徹底 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修										
				パイプライン		給水栓ボックス活動基礎部の補強 破損施設の改修 遮光施設の適正管理 通水試験の実施 パイプ内の清掃 給水栓に対する凍結防止対策 空気弁等への腐食防止剤の塗布等 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修									
					ため池		遮水シートの補修 コンクリート構造物の目地詰め コンクリート構造物の表面劣化 に対する対応 堤体侵食の早期補修 遮光施設の適正管理 破損施設の改修 ゲート類等の保守管理の徹底 水抜きによる点検・補修 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修								
						農道		側溝の目地詰め 側溝の不同沈下に対する早期対応 側溝の裏込め材の充填 路肩・法面の初期補修 破損施設の改修 異常気象等後の見回り 異常気象等後の応急措置 きめ細やかな雑草対策 機能診断・補修技術の研修							
								機能診断(項目)	8	8	8				
						計画策定(項目)	1	1	1						
						実践活動(項目)	37	7	36	37					
						割合		18%	97%	100%					
						合計(項目)	46	7	45	46					
				新たな実践活動(項目)											
				農地・水向上活動における 地域活動要件				%以上							

注) 印のついた太字の実践活動は機能診断結果に基づいて実施の必要性を判断し、必要に応じて実施する活動



(添付様式9 別添1)  
地域活動指針チェック表

(添付様式18-1)  
基礎支援対象活動実施状況報告書

誘導部分 - 農村環境向上活動

活動組織名: 埴田環境保全倶楽部

テーマ: 水田貯留機能増進・地下水かん養

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	水田貯留機能増進・地下水かん養	計画策定	水田貯留機能増進・地下水かん養に係る地域計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	水田の貯留機能向上活動							
			地域排水機能向上のための施設操作							
			水田の地下水かん養機能向上活動							
			水源かん養林等の保全							
		計画策定(項目)								
		啓発・普及(項目)								
		実践活動(項目)								
合計(項目)										
新たな実践活動(項目)										

テーマ: 資源循環

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動	資源循環	計画策定	資源循環に係る地域計画の策定							
		啓発・普及	広報活動							
			啓発活動							
			地域住民等との交流							
			地域内の規制等の取り決め							
			学校教育との連携							
			行政機関等との連携							
		実践活動	有機性資源の堆肥化							
			間伐材等を利用した防護柵等の適正管理							
			農業用水の反復利用							
			小水力発電施設の適正管理							
		計画策定(項目)								
		啓発・普及(項目)								
		実践活動(項目)								
合計(項目)										
新たな実践活動(項目)										

テーマ:

区分	テーマ	活動区分	活動項目	現況	計画	実施	写真番号	備考	市町村 実施確認	
農村 環境 向上 活動		計画策定								
		啓発・普及								
		実践活動								
		計画策定(項目)								
		啓発・普及(項目)								
		実践活動(項目)								
合計(項目)										
新たな実践活動(項目)										

全テーマの集計

		計画	実施	市町村 実施確認
「計画策定」、「啓発・普及」、「実践活動」のそれぞれの活動項目をセットで実施するテーマ	生態系保全			
	水質保全			
	景観形成・生活環境保全			
	水田貯留機能増進・地下水かん養			
	資源循環			
全テーマのチェック数	計画策定(項目)	1	1	
	啓発・普及(項目)	7	5	
	実践活動(項目)	6	8	
	合計(項目)	14	14	
	新たな実践活動(項目)			
農村環境向上活動における地域活動要件		4 項目以上		

作業写真整理帳

写真番号:

活動ごとの整理した整理帳から1活動項目1枚程度を選び作成する。あるいは写真整理帳をそのまま添付する。

部分	機能診断
水向上活動	啓発・普及
環境向上活動	
活動	
策定	
活動	

備考

写真番号:

実施年月日	
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又は テーマ	
活動項目	
備考	

写真番号:

実施年月日	
活動区分	基礎部分 農地・水向上活動 農村環境向上活動
	点検活動 計画策定 実践活動
施設又は テーマ	
活動項目	
備考	

(参考様式第22号)

埴環倶楽部第 号  
平成21年4月10日

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会  
会長 大久保 寿夫 様

埴田環境保全倶楽部代表  
渡 辺 二 秋 印

## 平成20年度 農地・水・環境保全向上対策 (共同活動支援交付金)に係る実施状況調書

農地・水・環境保全向上対策実施要領(平成19年3月30日付け18農振第1778号  
生産局長、農村振興局長通知)の第4の15の(1)のアに基づき、提出する。

### 1. 平成20年度収支実績 (平成21年3月31日現在)

#### 収入の部

	金 額 (円)	備 考
1 前年度繰越	120,000	
2 共同活動支援交付金	2,237,120	
基礎支援	2,237,120	
促進費		
3 利子等	100	
合 計	2,357,220	

#### 支出の部

	金 額 (円)	備 考
1 日当	...	
2 購入・リース費	...	
3 委託費	...	
4 その他	...	
5 次年度繰越	45,250	
合 計	2,357,220	収入の部合計額と整合する

【参考資料】  
共同活動参加人数等報告書

平成 20 年度

活動記録簿(日報)から転記する

(1) 共同活動参加人数

実施日	参加人数 (人)	うち構成員			のべ 活動 時間 (時間)	活動区分			備考
		うち構成員		うち構成員 以外		基礎部分	農地・水 向上活動	農村環境 向上活動	
		農業者	農業者以外						
4月1日	12	8	4	10					
4月3日	17	15	2	10					
4月5日	45	23	12	10				同じ日に異なった区分の活動を行った場合は分けて記入する。但し、「草刈り」と「きめ細やかな雑草対策」などの分けづらい活動は1行で記入し、主な活動に、その他活動に をつける	
4月5日	55	35	15	5					
4月30日	35	17	13	5					
5月10日	25	15	8	2					
5月21日	49	24	20	5					
7月11日	45	17	18	10					
8月12日	30	15	10	5					
8月12日	95	25	55	15					
8月31日	170	25	95	50					
9月15日	10	4	4	2					
10月1日	23	15	8						
10月15日	35	18	17						
2月1日	23	15	8						
2月5日	15	12	3						
.....	0								
	0								
計	684	283	292	109	1,855				
うち基礎部分計	57	31	16	10	126				
うち農地・水向上活動計	307	181	104	22	951				
うち農村環境向上活動計	320	71	172	77	778				

(2) 遊休農地の面積

対策に取り組んだ時点で遊休化していた活動区域内の農地面積 (ha)	左記(a)のうち、共同活動で耕作可能な状態に普及・管理した面積	左記(b)のうち、現時点で農地以外に適切に利用されている面積	左記(b)のうち、現時点で農地として適切に利用されている面積	左記(d)のうち、現時点で営農が再開されている面積
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
2.5	2.0	1.3	0.7	0.3(大豆)

例えば、ピオトープなど

例えば、営農再開、景観作物の作付け、市民農園など

面積はha単位で記入する

農地利用のうち、耕作権者による恵贈的・計画的な農業経営が行われている面積 ( )に主な作物名を記入する